



2026年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月8日
東

上場会社名 株式会社エスクロー・エージェント・ジャパン 上場取引所
コード番号 6093 URL <https://www.ea-j.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 成宮 正一郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部担当 (氏名) 太田 昌景 TEL 03-6703-0500
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第1四半期の連結業績(2025年3月1日～2025年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第1四半期	1,152	△1.8	31	△84.0	34	△83.3	△11	—
2025年2月期第1四半期	1,173	13.2	198	62.5	206	66.2	142	112.8

(注) 包括利益 2026年2月期第1四半期 △13百万円(— %) 2025年2月期第1四半期 143百万円(112.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第1四半期	△0.26	—
2025年2月期第1四半期	3.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年2月期第1四半期	4,398	3,281	74.6	75.34
2025年2月期	4,761	3,556	74.7	81.51

(参考) 自己資本 2026年2月期第1四半期 3,281百万円 2025年2月期 3,556百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2026年2月期	—	—	—	—	—
2026年2月期(予想)	—	0.00	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の連結業績予想(2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,504	5.5	132	△59.3	136	△58.7	89	△61.4	2.04
通期	5,435	14.6	477	△1.0	484	△0.6	355	1.7	8.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) 株式会社 New Deal 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年2月期1Q	45,950,238株	2025年2月期	45,950,238株
② 期末自己株式数	2026年2月期1Q	2,399,040株	2025年2月期	2,318,801株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年2月期1Q	43,604,691株	2025年2月期1Q	43,632,570株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第1四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第1四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2025年3月1日～2025年5月31日)におけるわが国経済は、景気は緩やかに回復しているものの、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクが高まっており、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっております。また、金融資本市場の変動等の影響に一層注意する必要があります。不動産市場については、地価の高止まりに加え、建設コストの値上がりが続いております。また、住宅ローン金利上昇による住宅取得費用の値上がりも懸念されることから、予断を許さない状況が続いております。

このような事業環境の中、当第1四半期連結累計期間においては、金融機関における住宅ローン取り扱い件数が低調であったことから金融ソリューション事業の各種サービス利用件数が前年を下回りました。一方で、建築ソリューション事業における建築事業者からの敷地調査業務の受託件数、及び設計サポートサービスが好調に推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は1,152,426千円(前年同期比1.8%減)、営業利益は31,624千円(前年同期比84.0%減)、経常利益は34,572千円(前年同期比83.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失は11,493千円(前年同期は142,471千円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(金融ソリューション事業)

金融ソリューション事業においては、主に金融機関に対し、住宅ローンに係る事務及び相続手続きの利便性、安全性及び業務の効率化に寄与する各種サービスを提供しております。取引関係者に対し不動産取引に係る受発注管理、進捗管理及び品質管理等に資するクラウドシステム「EPS(EAJ Platform System)」を通じてサービスを提供しております。また、連結子会社の株式会社エスクロー・エージェント・ジャパン信託における信託サービス、相続手続き代行サービスでは決済の安全性確保、財産保全等のニーズに対応しております。

当第1四半期連結累計期間においては、主に金融機関の住宅ローン取扱件数が低調であったことに伴う各種サービス利用件数の減少により減収となりました。

以上の結果、セグメント売上高は434,589千円(前年同期比24.3%減)、セグメント利益は183,500千円(前年同期比38.5%減)となりました。

(不動産ソリューション事業)

不動産ソリューション事業においては、主に不動産事業者に対し、不動産取引の非対面決済サービス「H'OURS」を提供する等取引の利便性、安全性及び業務の効率化のための各種サービスを提供しております。また、連結子会社の株式会社エスクロー・エージェント・ジャパン信託では、主に税理士等の士業からの相談に応じ、不動産の調査から取引決済まで安全性の高い不動産オークション取引の機会の場を提供しております。

当第1四半期連結累計期間においては、不動産市況高騰の影響等により不動産オークション取引の成約及び決済時期に遅れが見られ、また、「H'OURS(アワーズ)」の利用件数についても前年を下回りました。

以上の結果、セグメント売上高は145,101千円(前年同期比20.2%減)、セグメント損失は53,938千円(前年同期は10,097千円の営業利益)となりました。

(建築ソリューション事業)

建築ソリューション事業においては、主に建築事業者に対し、現場管理及び建築確認・申請業務等の利便性、安全性及び業務の効率化に寄与する各種サービスを提供しております。連結子会社の株式会社中央グループでは、建築事業者に対し建築の申請から各種申請用図面の作成、検査・アフターフォローまでワンストップでトータルサポートを行う住宅建築支援ツール「ARCHITECT RAIL(アーキテクト・レール)」の提供を行うとともに、測量、建築設計等の専門サービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間においては、建築事業者からの敷地調査業務の受託件数、及び設計サポートサービスが好調に推移いたしました。

以上の結果、セグメント売上高は322,400千円(前年同期比51.2%増)、セグメント利益は48,716千円(前年同期比106.0%増)となりました。

(土業ソリューション事業)

土業ソリューション事業においては、主に不動産取引に関わる土業に対し、業務の利便性、安全性及び業務の効率化のための各種サービスを提供しております。連結子会社の株式会社サムポローニアでは、主に登記申請に関連する分野において、オンライン申請機能や情報管理機能など多様な機能を有する「サムポローニアシリーズ」を通じて、土業へサービスを提供しております。また、マイナンバーカードを利用した本人確認及び電子署名を可能とする「サムポロトラスト」を提供しております。

当第1四半期連結累計期間においては、主力商品であるサムポローニアシリーズが堅調に推移いたしました。

以上の結果、セグメント売上高は248,484千円(前年同期比22.9%増)、セグメント利益は26,033千円(前年同期比65.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は3,302,543千円となり、前連結会計年度末と比較して306,485千円の減少となりました。これは主に、売掛金が70,786千円増加となった一方で現金及び預金が414,697千円減少したことによるものであります。固定資産は1,096,230千円となり、前連結会計年度末と比較して56,044千円の減少となりました。

以上の結果、総資産は4,398,773千円となり、前連結会計年度末と比較して362,530千円の減少となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は936,162千円となり、前連結会計年度末と比較して87,257千円の減少となりました。これは主に、未払法人税等が86,716千円減少したことによるものであります。固定負債は181,449千円となり、前連結会計年度末と比較して217千円の減少となりました。

以上の結果、負債合計は1,117,611千円となり、前連結会計年度末と比較して87,474千円の減少となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は3,281,161千円となり、前連結会計年度末と比較して275,055千円の減少となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失が11,493千円であった一方、剰余金の配当が261,788千円あったことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は74.6%(前連結会計年度末は74.7%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年4月4日の「2025年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,993,868	2,579,171
売掛金	562,407	633,194
その他	120,154	128,187
貸倒引当金	△67,402	△38,010
流動資産合計	3,609,028	3,302,543
固定資産		
有形固定資産	221,336	222,933
無形固定資産	592,631	572,337
投資その他の資産	338,307	300,959
固定資産合計	1,152,274	1,096,230
資産合計	4,761,303	4,398,773
負債の部		
流動負債		
買掛金	165,527	106,534
未払法人税等	110,507	23,790
賞与引当金	105,556	70,222
その他	641,828	735,615
流動負債合計	1,023,419	936,162
固定負債		
資産除去債務	44,913	41,603
その他	136,752	139,845
固定負債合計	181,666	181,449
負債合計	1,205,086	1,117,611
純資産の部		
株主資本		
資本金	676,677	676,677
資本剰余金	791,517	791,517
利益剰余金	2,631,828	2,358,546
自己株式	△548,271	△548,271
株主資本合計	3,551,751	3,278,469
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,548	4,536
為替換算調整勘定	△83	△1,844
その他の包括利益累計額合計	4,465	2,691
純資産合計	3,556,217	3,281,161
負債純資産合計	4,761,303	4,398,773

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
売上高	1,173,482	1,152,426
売上原価	606,456	717,866
売上総利益	567,026	434,560
販売費及び一般管理費	368,885	402,935
営業利益	198,140	31,624
営業外収益		
受取利息	4	43
受取賃貸料	9,910	10,029
雑収入	7,134	2,312
その他	176	117
営業外収益合計	17,226	12,502
営業外費用		
支払利息	137	1,031
賃貸費用	8,392	8,459
その他	150	63
営業外費用合計	8,680	9,554
経常利益	206,686	34,572
税金等調整前四半期純利益	206,686	34,572
法人税、住民税及び事業税	33,313	17,602
過年度法人税等	—	△8,899
法人税等調整額	30,901	37,362
法人税等合計	64,215	46,066
四半期純利益又は四半期純損失(△)	142,471	△11,493
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	142,471	△11,493

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	142,471	△11,493
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31	△12
為替換算調整勘定	599	△1,761
その他の包括利益合計	567	△1,773
四半期包括利益	143,039	△13,266
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	143,039	△13,266
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結会計期間において、新たに設立した株式会社 New Dealを連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額(注) 1・2・3	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 4
	金融ソリューション	不動産ソリューション	建築ソリューション	士業ソリューション	計		
売上高							
外部顧客への売上高	574,143	181,808	213,230	202,146	1,171,329	2,153	1,173,482
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	—	—	7,452	7,458	△7,458	—
計	574,149	181,808	213,230	209,598	1,178,787	△5,304	1,173,482
セグメント利益	298,158	10,097	23,643	15,768	347,667	△149,526	198,140

- (注) 1. 外部顧客への売上高の調整額2,153千円は事業セグメントに帰属しない本社の収益であります。
2. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△7,458千円はセグメント間取引の消去であります。
3. セグメント利益の調整額△149,526千円は、セグメント間取引の消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社部門等で生じた販売費及び一般管理費であります。
4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額(注) 1・2・3	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 4
	金融ソリューション	不動産ソリューション	建築ソリューション	士業ソリューション	計		
売上高							
外部顧客への売上高	434,589	145,101	322,400	248,484	1,150,575	1,850	1,152,426
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22	—	—	27,551	27,573	△27,573	—
計	434,611	145,101	322,400	276,035	1,178,148	△25,722	1,152,426
セグメント利益又は損失 (△)	183,500	△53,938	48,716	26,033	204,313	△172,688	31,624

- (注) 1. 外部顧客への売上高の調整額1,850千円は事業セグメントに帰属しない本社の収益であります。
2. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△27,573千円はセグメント間取引の消去であります。
3. セグメント利益又は損失(△)の調整額△172,688千円は、セグメント間取引の消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社部門等で生じた販売費及び一般管理費であります。
4. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
減価償却費	35,898千円	60,312千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。